

くつろぎタイム

ゴルフで汗を流すのが心身両面にとっての健康法。本を読んだりテレビ鑑賞をするのもとても良い気分転換です。

株式会社ビー・プロ
代表取締役
仙台商工会議所 2号議員

えま ふみなり
江馬 文成 氏

昭和31年2月19日生まれ
仙台市出身
血液型A型



昭和53年東北学院大学法学部法律学科を卒業後、明治24年創業の江馬印刷(株)に入社。昭和55年から8年間の東京営業所勤務を経て、昭和60年、専務取締役就任と同時に本社勤務となる。副社長を経て、平成8年5月、5代目の代表取締役社長に就任した。平成19年5月、高速美術印刷(株)代表取締役社長に就任。平成21年、江馬印刷(株)から現在の社名に変更した。江馬さんの好きな言葉は、「案するより産むが易し」。「やってみなければ分からない」というのが私の考え方で、やらずに後悔するより、やってみて納得したいのです。それが自分の生き方ですね」と笑顔で話す。

読書がお好きと伺いました。

普段はせいぜい月に5冊くらいですが、この1月、2月は20冊くらい読んだと思います。ジャンルを問わず、そのとき話題になっていない本にも目を通しますが、特に好きなジャンルは「自叙伝」です。読むと元気になると言いますか、力がもらえるような気がします。これまで、パソナ創業者の稲盛和夫さんや、京セラ創業者の稲盛和夫さんといった方々の本を読み、その考え方に興味をもつようになって、盛和塾(京都の若手経営者が、京セラ社長の稲盛和夫氏から「人生哲学」と「経営哲学」を学ぼうと立ち上げた自主勉強会)に入るきっかけにもなりました。最近では、アメリカ大統領のドナルド・トランプ

さんや、吉野家の安部修仁さんの自叙伝もおもしろかったですね。

読書のほか、リラックスタイムはどのようにお過ごしですか。

テレビを見るのも好きでして、読書に疲れると、録画していたテレビ番組を見て過ごしています。ドラマやクイズ番組、お笑い番組など、これもジャンルを問いませんが、特にNHKのドキュメンタリー番組『プロフェッショナル 仕事の流儀』や、大河ドラマは欠かさず見ているんですよ。

ゴルフが趣味と伺いましたが。

もともと体を動かすことが好きなんです。学生時代は、スキー部や山岳部に所属していました。今は、休みが2日あったら1日はゴルフに出かけることが多いですね。ボールを追いかけるのが夢中になって、頭の中がゴルフのことだけになるのがいいんです。他のことを考えなくなるでしょう。それがとても良いリフレッシュ

シユになるので、心身両面にとっての健康法ともいえるかもしれません。英気が養えるので、月曜日の朝はしっかり充電した状態で出社できるのも、ゴルフのメリットですね。それに、ゴルフだけのお付き合いという方々も多いので仕事以外の情報交換もできて、そういう意味でも有意義な時間だと思っています。ちょっと自慢になりますが、2012年にホームコースの泉国際ゴルフ倶楽部のクラブ選手権でチャンピオンになったこともあるんですよ。

しかし、いくら好きとは言っても、会社で私だけがお付き合いのコンペに行っているのはどうかと思いついて、実は、3年前に社内ゴルフ部をつくり、レッスンプロに1年間、指導してもらいました。当然ながら、始めはゴルフを全く知らなかった人も、今では95から110のスコアでラウンドするようになり、やはり上手くなるのが楽しくなるのでしょうか、「休日のゴルフがあるから仕事のモチベーションも上がります！」などと言っているんですよ。

一日の中のオンとオフの切り替えは、どのように行っているのですか。

車で通勤しているのですが、出社時はクラシック、退社時はポップスやミュージカル曲などを聴きながら、仕事モードにしたり、リラククスモードにしたりのスイッチを切り替えて

います。余談ですが、会社も自宅も地下鉄が利用できる場所にありますので、新幹線での東京出張も楽ですし、車を会社に置いたままでも楽に移動ができるので、ストレスになりません。この便利さにはとても助けられています。

8年間の東京での暮らしを経験したからこそ、見えてくる仙台の魅力をごどのように捉えていますか。

ひとことで表現しますと、ほど良く田舎で、ほど良く都会というのが、仙台の魅力ではないでしょうか。海も山も近く、新鮮な食材が豊富で、何よりゴルフ場も車で1時間以内で行くことができる距離にあるのがとてもいいですね。先ほども申しましたが、地下鉄東西線の開通によってますます住みやすくなりましたし、大好きな故郷です。

お仕事の近況と、ご自身が今後挑戦してみたいことをお聞かせください。

弊社は私で5代目になります。私が21年前に社長に就任したとき、弊社の売り上げの100%は印刷でしたが、現在はアウトソーシングされたデータ分析や印字等の情報処理業務が60%になりました。平成19年に江馬印刷からビー・プロに社名を変更したのも、売り上げの50%が東京市場になったことがきっかけになりました。



2012年、泉国際ゴルフ倶楽部のクラブ選手権で念願の優勝を果たしたときの思い出の1枚。

また、熊本地震の時には、東日本大震災の時の社員の経験談をまとめた「応援ハンドブック」を5000冊制作し、機械メーカーさんを通じて、熊本の同業社やそのご家族に届けていただきました。震災で多くの機械メーカーさんに助けていただきましたので、何らかの力になりたいと思ったのです。

今後は営業的にハードからソフトへ、生産現場はIoT、AIを駆使したロボット化がますます加速すると思います。社員に恵まれておりませんが、対応していけるのではないかと考えているところです。

個人的にももう少し自分の時間を取るようにしたら、英会話スクールに通って、ちゃんと英語を習ってみたいですね。そして、コミュニケーションをとるための実用英語を身につけたいと思っています。

やがて生まれ来る子供たちのために。

宇宙のオアシス『地球』。ただひとつの、この青い星を守って行かなくてはなりません。大切な人のために、そしてやがて生まれ来る子供たちのために。私たちは、よりよい環境をめざし、考えつづけます。



より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全

本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)